

設工認申請に係る取組状況について

<概要>

- ・補足説明資料で検討の全体像を改めて整理しなおしており、会合資料でも全体像を示した上で、今回の4因子の検討状況を説明
- ・その上で減衰定数はまだ見通しを得るまで至っていないことを説明（次回見直し確定予定）
- ・追加調査計画の説明（位置づけ含む）
- ・今後（年内）の検討の流れを説明

<骨子>

- ① 耐震設計の全体像を示し、今回の説明は、入力地震動の策定であることを明示
 - ・建物への入力地震動策定が目的であることを明確にする
- ② 入力地震動策定のプロセスを明示し、現在の検討の位置を明示
 - ・地盤モデル策定の考え方（標準的一般的な手法：直下（12Gr）、すべてのデータ活用等）
 - ・地盤モデル設定のために必要な検討事項（4因子）を説明
 - ・4因子に対する前回までの説明内容、コメントへの対応状況を説明
- ③ 減衰定数・表層物性についての検討状況説明
 - ・見通しを得るための方針
 - ・前回説明内容と今回説明内容
 - ・現時点で得られている結果と今後の予定（見直しへの道筋）
 - ・追加検討の計画（位置づけを含む）
- ④ 今後の検討の流れ
 - ・基本地盤モデル（建物・構築物）の見直し確定
 - 4因子（減衰）の見直し確定、ばらつきへの扱いの確定
 - ・建物・構築物への入力地震動の算出（13波）
 - ・建物、機器の耐震計算の扱いの決定
 - 申請した耐震計算結果を用いることのできる条件の整理
 - ・再計算する建物・構築物、機器の見直し
 - ・減衰定数、表層物性に係る追加調査の結果

以上